

第一学院高等学校静岡キャンパス 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成31年 3月 5日

3月5日(火) 第一学院高等学校静岡キャンパスを訪問し、社会科の特別講座として1,2年生14名とともに「石器の試し切り体験」と「土器の分類体験」に挑戦しました。

最初は硬かった表情も、はじめて手にする本物の石器や土器に驚き、活発に集中して取り組む姿が見られました。

本物に触れたこの体験学習が、これからの学習や進路に生かされることを期待しています。



石器の試し切り体験

黒曜石を使って、紙や野菜を切る体験をしました。黒曜石を手にするのははじめて、こわごわ野菜を切ってみると、とても、よく切れたことに驚いていました。大昔の人々は、どこで見つけたのか自然が作り出したガラスのような石の塊、鋭く尖る石、黒曜石を探し求めて、長野県や伊豆諸島まで出かけて行き石器として使用していたことに、さらに驚きを感じていました。



土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器(すえき)の3つの時代の土器の特徴は小中学校で学習済みのはずでしたが、実際に本物の土器片を直接手にとって分類するとなると難しい作業でした。見た目や肌触りなどそれぞれの時代の土器の特徴や違いばかりでなく、縄文土器の複雑な模様や須恵器の突起から器としての使用に気づいたり、自然釉薬のあとを見つけたり、いろいろな発見に楽しい体験学習ができました。

